

1 本園の教育目標

みんなの‘わ’

- ・心身ともに、たくましい子供を育てる
- ・自分で考え、自分の力でやってみようとする子供を育てる
- ・豊かな感性を持ち、表現する子供を育てる
- ・自分も友達も大切にする子供を育てる

2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

- (1) 努力目標 友達っていいな～友達へ安心して自分の思いを出せる子供を育む～
- (2) 豊かな実体験にもとづいた多様な活動
- (3) 集団で育ち合い、主人公になる教育保育

3 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
(1) 努力目標	A	他児との関わりを通して自分の思いに気付き、言葉等で伝わる喜びを実感し、安心して過ごせる居場所作りに努めました。
(2) 豊かな実体験に基づいた多様な活動	A	食育(栽培・クッキング他)・リズム・お手伝い等、園生活の様々な場面で、子供自身の力が発揮できる活動を通して、生き生きとした姿へ成長しました。
(3) 集団で育ち合い一人ひとりが主人公になる教育保育	A	クラス集団での取組(集団遊び・話し合い等)の中で年長児の誇りやリーダー性、異年齢児間の育ち等、一人ひとりを認め合える集団作りをしました。

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
A	友達と一緒に遊びや生活をする中で、様々な感情を経験し、人との関わり方を学び、一人ひとりが安心して自分の思いを出せる教育保育を行いました。今後も職員間の連携を密にし、丁寧な手立てを行います。

5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
幼児期に大切にしたい育ちの保障	幼児期の育ちで大切な視点を再確認し、その後の成長を見通した手立てを丁寧に行い、健やかな成長発達を保障します。
地域へ開かれた園	公的施設として今年度の実績を土台に、地域の子育て支援に関わる団体や施設との連携を深め、子育て支援事業の拡充など、地域の方々が利用しやすい園を目指します。

◎3.4. の評価結果の表示方法

A十分達成されている B達成されている C取り組まれているが成果は十分でない D取組が不十分である